

## 活動名「夏のわくわくキャンプ2025」

1. 日時 令和7年5月31日（土）9:00～1日（日）15:30

2. 場所 福井県立 芦原青年の家

### 3. 内容

野外活動を通し、仲間との協働、自然との触れ合い、課題解決に取り組む力を育成する。事業を通して、SDGs3.4.5.13 への理解を深め、考える力、行動にうつす力を身につける。

4. 参加人数 23名（指導者8名含む）

### 5. 活動の様子

→みちしるべを用いた  
クイズラリーを行い、  
自分達で考え、解決を導き出している所。



→野外炊飯で調理に関する説明を受け、  
実行にうつしているところ。  
数の調整をした為、廃棄0を行うことが出来た。



↓↑ボンファイヤー。  
中高生が中心となり計画し、  
リーダーシップを発揮した。



↑テント設営、竹を利用して  
メニューボードを組み立てている所

### 6. 事業の成果

●野外炊飯時に限られた資源の中で行う事で、自然の大切さや食事が自分達の健康と密接に繋がっていることを実感し、日々の生活の見直しの機会となった。今回、廃棄処分になることを避けるために事前に食材の調整を行い、期間中の残飯ゼロを達成できた。

●中高生が中心となり、ボンファイヤーの計画や進行を行い、リーダーシップの取り方を学び、実行に移すことができた。

●自団ではなく、他団から技術力のある指導者を呼んだ事で、子どもたちにより高い技術力の取得の場を提供できた。また、大人も一緒に学ぶ事で全体の技術力のベースアップに繋がった。